



熊野中学校長通信 「**がんくま・スクラム**」

校訓：自主自律 生徒版 NO.3 令和8年6月1日号

学校教育目標：「前向き Be positive.」

文責：草本



全員で楽しみ！喜び！支えあった！感動の体育祭！！

個々の思いが集結して、全校生徒、教職員での見事な「表現力」でした！

みなさん、金曜日の体育祭は本当にお疲れ様でした。

前日に予想より雨を降らせた雨雲も、みなさんの熱い
想いに逃げていって当日は気持ちの良い日差しの中での



開催となりました。開会式で伝えたようにみなさんは自分たちの全力を集結させ、「一人ひとりの思い」を掛け合わせて、全体で「表現力」を発揮してくれました。「表現力」とは、上手にダンスをしたり、勝ってアピールしたりすることだけではなく、今、この瞬間に「自分にできること」を一生懸命に見つけ、主体的に発信し、行動すること。「勝ちたい」という熱いエネルギーを、「仲間を認め、支え合い、全員の良さを引き出す」という、熱い「表現力」に変えて元気一杯の「前向き」さをグラウンドで表現してくれたと思います。

閉会式挨拶に立った朝礼台から見たみなさんの表情からは、勝った喜び、負けた悔しさではなく、仲間と協力しお互いを大切にしながら必死に声を掛け合ったそこまでのプロセスに、言葉にできない感動を感じていることがひしひしと伝わってきました。

何位であろうと最後まで笑顔で走り切った全てのリレー、全団が最後まで



あきらめずにトライして最後には大逆転で会場を大いに沸かせた「みんなでジャンプ」、係の仕事を全力で済ませグラウンドに一礼をしてからテントに戻る姿。そしてそれらの姿の最後に、ケガをして演技ができなかった赤組団長が、自分の必死の応援に答えて仲間が勝ち取ってくれた優勝旗を本当に誇らしげに、うれしそうに団に持ち帰る姿と、それを讃え合う気持ちのよい全校生徒のすがすがしい笑顔がありました…。本校にとって記念すべき第80回体育祭は、たくさんの感動の場面の詰まった、気持ちの良い時間を共有できた、ま

さに「感動の体育祭」になりました。本校の校長として嬉しく、誇らしい限りです。

そんなみなさんが見せてくれたひたむきな姿、弾ける笑顔、そして仲間を思いやる声かけのすべてが、最高の「表現力」でした。特に3年生は色々な葛藤を乗り越えて、最後まで全員で楽しみ、全員で感動できる最高の空気を作ってくれました。本当に立派な、誇れる最上級生です。

さあ、「感動の体育祭」での学びを、熱く取り組んだ末の成長を、これからの学校生活につなげなければもったいない！そのためにも閉会式で言ったように、ぜひここで自分の心を丁寧に見つめてほしいと思います。

「自分は、自分たちは、なぜ、あんなに一生懸命になれたのか」「仲間と心でつながることができて、どう嬉しかったのか、どう楽しかったのか」「あの感動は、どんな悩みやしんどさを、どんな気持ちで乗り越えた結果だったのか」。この体育祭で得た自信と、心の中で気づいた大切な自分自身の価値を、ぜひこれからの生活で「自分の言葉」にして伝えていってほしいのです。みなさん一人ひとり素晴らしい生徒です。みなさんの心にある純粋でまっすぐな気持ちは、みなさんの強みです。今回の取組でさらに高めたその強みをしっかり自覚し、自信を高め、今後の挑戦、成長につなげていきましょう。

とても暑くて熱い一日、全力で走り、踊り、応援し、裏方としても頑張ってくれた生徒のみなさん、そして温かく指導し、伴走してくださった先生方に、心から拍手を送ります。

学校全体が「前向き」な感動に包まれた、最高の体育祭でした。

素晴らしい姿を見せてくれて、本当にありがとう！そして、お疲れさまでした！

